

特定非営利活動法人 応援のしっぽ 事業計画 【2013年度】

2013年12月1日～2014年11月30日

1、目的

当法人は、日本の応援文化の発展と浸透に寄与する事を目的とする。

2、目標

上記目的のため、以下の目標をあげる。

- ・違和感のない応援の為、手数料を取らない応援ポータルサイトモデルの構築・運営
- ・社会事業への啓蒙を含むキャリア教育への参画
- ・少子高齢化の進む地域社会における組合的ものづくりコミュニティ連携モデルの確立

3、今年度の事業

- ・ものづくりコミュニティ販売支援事業
- ・小規模団体への運営支援事業

4、各事業詳細

・ものづくりコミュニティ販売支援事業

当法人が事務局を務める「ものづくり交流会」を核としながら、その受け皿となるべく事業を展開。また、事業自体の継続運営が可能なように収益事業として確立させる。

ものづくり交流会及びその参加ものづくりコミュニティ群との連携を図りながら、相互に情動的、経済的、人材的に循環できる関係性を保ち、地域社会の活性化につなげていく。将来的には、細く長く運営しつつも、過疎化地域でのコミュニティ結成や就労の機会を保ち、社会福祉的機能も持たせた、地域社会における手しごと組合的な多団体連携モデルを確立することを目的とする。イメージ的には、販売支援事業→ものづくりコミュニティ運営大学といった過程をたどる。また、いわゆる「復興商品」は売れなくなるため、起爆剂的なイベントを挟みながら、個人販売から法人ノベルティグッズ注文生産へ、その間延命・維持を図りながら、地域連携ブランド構築からシリーズ開発を経て、行政連携の長期安定生産へ移行させていく。

今年度事業においては、まずコミュニティの維持すら難しい現状から、販売支援に重点をおいた事業内容として以下の施策を実行する。

- 1、販売サイト、ギャラリーショップ、受注発送センターの開設
- 2、商品カタログ、コミュニティ紹介カタログ、ノベルティコラボ用カタログの発刊
- 3、企業への攻勢(商品販売、マッチングニーズ掘り起し、寄付金獲得)

- 4、ものづくり交流会の開催
- 5、重点支援コミュニティへの外部支援絞り込み
- 6、地域ブランド開発

主要施策予定カレンダーは以下の通り。

- 2014年1月 みやぎ生協協働の商品カタログ vol.1 発刊
受注発送センター 稼働
- 2014年2月 第3回ものづくり交流会 in 亘理 開催
- 2014年3月 販売サイト「もなおくんち」開設
ギャラリーショップ「もなおくんち」開店
- 2014年5月 ノベルティカタログ 発刊
- 2014年6月 第4回ものづくり交流会 in 仙台
- 2014年9月 コミュニティ紹介カタログ 発刊
サイト「もなおくんち」リニューアル
- 2014年11月 第5回ものづくり交流会

実施予定場所

宮城県、岩手県、福島県

従事者の予定の人数

4名+20名(ボランティア)

受益対象者の範囲及び予定人数

対象コミュニティ 50団体 そのスタッフ 300名

支出見込額

6,197,400円

・小規模団体への運営支援事業

当法人が活動を始めるに至った根っこでもあるこの事業は、急がず、応援文化の普及と啓蒙のために着実に成長させていくこととする。応援ポータルサイト「応援もなか」を基盤ツールとしながら、目的に沿って実績を積んでいける施策、また顔の見える関係性を重点的に構築していくための施策を実行する。今年度事業における重点課題は、ツアーコーディネートのパッケージングとし、ツアーの事業化への道を探る。

- 1、小規模団体運営相談
- 2、応援ポータルサイト「応援もなか」の運営
- 3、英訳ボランティアによる、ブログ英訳・海外発信
- 4、希望者への応援もなか登録団体へのツアーコーディネート
- 5、こども取材コンテスト

主要施策予定カレンダーは以下の通り。

2014年1月 応援もなか定期改修（以後、必要に応じて改修）

2014年5月 ツアーパッケージング実験的に開始

2014年7月 第2回こどもなか取材コンテスト（～8月）

実施予定場所

宮城県、岩手県、福島県

従事者の予定の人数

2名+50名(ボランティア)

受益対象者の範囲及び予定人数

対象団体 60団体 そのスタッフ 400名

支出見込額

1,914,800円

以上 2013年12月1日 記